

吹上地域包括支援センター 担当

✚ 日 時： 令和6年5月21日（火）午後2時15分～2時40分

✚ 会 場： 栃木市役所 401 会議室

✚ 事例数： 1ケース（11月21日検討した事例の振り返り）

✚ 参加者数： 9名

〔 事例提供者1名、助言者6名、包括職員2名 〕

息子と二人暮らし、日中独居となり生活意欲が低下している 80 歳代女性

〈目標〉1日:日中、1人の時間を安全に過ごしたい。

1年:時間帯を考えて散歩をしたい。

利用サービス:通所型サービス(基準緩和型)、訪問型サービス

《前回会議での支援策》

支援方針:今後も在宅生活を続けるために栄養、運動について本人と息子の理解を促し、フレイル状態を改善する。

助言内容:

- ①認知機能低下予防や足腰が弱らないよう、デイサービスの利用と自宅での運動を継続する。
- ②ムース食でも詰まる可能性があることを伝え、常食に戻した際、ヘルパーに見守りをお願いできると良い。
- ③はつらつセンターや認知症カフェへの参加を勧める。
- ④噛みにくくなっている原因究明のためにも、定期の歯科受診を勧める。

《支援結果・状況》

- ①、③未達成:体の痛みが改善されないため、本人の希望によりデイサービスの利用を終了。息子と一緒に自宅から100m程度の散歩を行っている。
- ②未達成:本人、息子へ説明を行うが、本人が現状維持の希望が強く変更できていない。
- ④未達成:本人、息子へ情報提供しているが、受診に至っていない。